



# 事業所通信No.156

特定非営利活動法人はちくりうす  
 東京都目黒区鷹番3-14-9  
 Tel : 03-3793-3012  
 Fax : 03-5856-6700  
 Email : office@scurious.or.jp  
 https://www.facebook.com/Scurious  
 編集担当：島田 宏

## 上映会へのご参加ありがとうございました

映画「道草」上映会&トークイベントにご来場いただき、本当にありがとうございました。

また当日、やむなくお断りさせていただいた方々には大変申し訳ありませんでした。

今回の上映会イベントを開催するにあたり、私は**3つのこだわり**がありました。

### ■一つ目は目黒区の後援をいただくこと。

自立生活(介護者付き一人生活)は特別なものではなく、誰でも当たり前に選ぶことができる。それを行政も応援し、一緒に考え支えていける関係であるということをお伝えしたいという思いです。

### ■二つ目は実行委員会形式で開催するということ。

はちくりうすでは設立時から「自立生活」というスタイルを推奨し実践してきましたが、いろんな人たちが関わり広げていかなければならないテーマだと考えています。いまは直接支援に携わっていない事業所も、今後いっしょにやることが出来る仲間作りのきっかけになればという願いでもありました。

### ■三つ目は開催時期です。

「津久井やまゆり園事件」が起きた7月は各地で追悼集会があります。あえてその時期に、地域でこんなにも楽しく、素敵な表情で生活している当事者たちの姿をお伝えしたい！という思いが強くなりました。都合がつかず見逃されたという方、今後の「道草」の上映については「道草」の公式HPを検索してください。ぜひより多くの方々にご覧いただきたい本当に素敵な映画です。

## 「道草」 上映会報告

### 「道草」感想アンケートより

- 映画の中の皆さんの日常がとても美しかった。最後の「理解は後からやってくる」という言葉とてもよかった。涙が出ました
- とてもいい映画でした。生きてるんだいろんな人と一緒に。なかなかすっぱり支援の輪には入れないけれど、より近くなりました。監督いい!
- 教員という立場から広げていきたいと思います。映画を作られた方の思い、当事者・支援者の思いも聞いてとても参考になりました。学校関係者や小・中学部の保護者にもっと見に来てほしいと思いました。(特別支援学校教員・保護者)
- わが子も知的障害者です。切なさ勇気もいただきました。また、機会があれば是非。



### 映画「道草」を観て 一人暮らし考



私事ですが、昨年2年住んだ住み慣れない街から、8年近く住んだ住み慣れた街へ引っ越ししました。特に何があったわけでもないのですが、なんとなく一くいやだなあ…とも

やもやしているうちに2年が経過していました。さあ待ちに待った更新月。そのままそこに住むという選択肢はなく、少し高くても良いから住み慣れた隣町へ引っ越しを決めました。今では悠々自適でストレスフリーな生活を送っています。

このように誰もが選択肢の1つとしてあって当然な、住み慣れた街で住むこと。もしくは好きな街で生活するという。どうして障害のある方はその選択がなかったのでしょうか。どうして選択肢が実家かグループホームか施設かしかなかったのか…私は疑問でなりません。

映画『道草』を観て、また、いま現在はちくりうすを利用して自立生活をしている方の話を聞き、みんな楽しそうにやっってるなあ～、生き生きしているなあ～という印象を受けました。もちろんまだまだ解決すべき事がある方もいると思います。掃除や洗濯、食事などなど慣れないことも多々あるかと思いますが、時間とヘルパーと共に、また地域の方を巻き込んで解決していけたら良いなと思いました。(利用者さんのために事業所が家を丸っと一軒購入された行動力には驚きました!)

「一人暮らしなんていう選択肢、あることさえ知らなかった」という方もたくさんいらっしゃるかと思います。はちくりうすの活動を通して、「自立生活」という選択肢、広く世の中に伝えていけたらと思います。(真野)



## 7月の 月例会より

テーマは人権と差別。権利擁護についてお話ししました。差別といっても障害者差別だけでなく様々です。

何故差別が起こるのか？

人が人の上に立ち感じる優越感、憎しみ、異質な事、ものへの警戒心、恐怖心、子どもは周りの大人の影響を受けて育ち、大人が差別的発言や偏見をしても「それは正しい事」ととらえて育ってしまう事などが上げられます。

何気ない一言や行動が相手を傷つけ、人権を脅かす人権侵害になっている可能性があるという事です。自分も気をつけよう！と考えた部分です。

今回のテーマの中でディズニー映画の「ズートピア」の話を取り上げました。前半のジュディはウサギ=草食動物は弱い、警察になれるはずがないと差別の対象になっていました。

後半のジュディは婦警になります。ただ、肉食動物は危ない、キツネはずるいなど全てを決めつけ、差別される側から差別する側へ変わっていきます。過去に受けた心の傷がそのような変化につながる恐れもあります。

誰もが被害者になる可能性、誰もが加害者になる可能性を秘めている事を感じました。絶対的な正義を作る事は反面で悪を作る事もあるのです。

差別は無くならないと思います。

それよりも人が人である為に生きて行くには、相手がこれをされたら困ってしまう、このようにしたら助かるだろうなど、相手を思う気持ちの積み重ねが何かしらの救いになるとおもいます。



(高橋)



## 25日、パリパラに櫻原が出演しました。

相模原の殺傷事件から3年。やまゆりの再建後は再入所を望んでいたが地域で生きていく事を始めた方の映像や、地域で自立生活をはじめた女性当事者の一人暮らしの様子とサポートの実態を話されました。

スタジオでは、サポートをしている方との微笑ましいやりとりも映って、改めて「こういう瞬間が嬉しいよね」と思い、視聴者の方に伝わるといいなあと思いました。

櫻原も、はちくりうすで自立に係わった実践や、知的障害がボディランゲージで伝えてくれる言葉を受け止めると周りの人も当事者もハッピーになれる実体験など話し、もっと時間が欲しいな、という放映でした。

9月は、普段月例会に参加しにくいヘルパーさんにも参加していただけるように、土曜日の夕方に設定しました。同じ利用者さんに入っているヘルパーさん同士の情報共有も出来ますよ。是非、時間の都合をつけてご参加ください。



**8月9日 (金) 鷹番住区センター第3・4会議室**  
10時～12時 医療的ケアについて

**9月7日 (土) 鷹番住区センター第3・4会議室**  
16時半～18時半 情報共有

## 編集後記

今回の通信は、映画「道草」の特集になりましたが、今回鑑賞出来なかった方も、機会があれば、是非ご覧ください。

梅雨も明けて、暑い夏になりそうですね。島村はかき氷が大好きです。この前久しぶりにかき氷機を買ってしまいました。

夏休み、あなたは何処へ行きますか？ 島村は、家の片づけかなあ。出来るかなあ。

